

2023年度

JICA中国 国際教育プログラムのご案内

国際協力とSDGs (持続可能な開発目標)

ESD (持続可能な開発のための教育)

キャリア教育

グローバル教育

平和・人権学習

総合的な学習(探究)の時間

道徳

地理総合



独立行政法人 国際協力機構 中国センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1

TEL.082-421-6305 FAX.082-420-8082 E-mail: jicacice@jica.go.jp

JICA中国の国際教育プログラムとは？

グローバル化が進む現在、地球に暮らす私たちが自らの足元を見つめ直し、日本を含めた国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。

また、日本の経済や社会の変化にともない、多くの外国人が来日し、外国につながる児童生徒も増加しています。異なる文化を持つ人々は今や海外だけではなく、地域の担い手として、私たちの隣人として、身近に暮らす時代になりました。

改訂後の学習指導要領では「持続可能な社会の創り手」の育成がうたわれ、多様な価値観・生活習慣をもつ人々と国内外で共存できるよう、児童・生徒が互いの文化を理解し、尊重し合い、違いを認められるなど、新たな社会で生きていくために必要な資質・能力を育むことが求められています。

JICA中国では、長年の開発途上国での活動経験をふまえ、世界の問題や日本との関わり、国際協力について知り、考えるための参加型プログラムを多数ご用意しています。

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりに、是非ご活用下さい。

なおJICA地球ひろばのウェブサイトでは学校現場でご活用頂ける情報をご覧頂けます。

詳しくは

先生・生徒のお役立ちサイト JICA 地球ひろば

で

検索



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは？

2015年9月の国連サミットで採択されたもので、開発途上国だけでなく、先進国も含めたすべての国が取り組むべき17の目標と169のターゲットが定められた、2030年までの国際的な目標です。JICA中国では、開発途上国での経験を活かしつつ、中国地方の特長や課題も視野に入れ、すべての人がSDGsを自分事としてとらえることができるように積極的に取り組んでいきます。



CONTENTS

※感染症の状況や天候などにより、いずれのプログラムも
延期・変更の可能性があります。

世界を知り、自分を見つめる2泊3日の異文化体験

高校生国際協力体験プログラム ————— 03

言葉にすれば、世界を動かす力になる

国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト ————— 05

世界の衣装、お貸しします

民族衣装の貸出 ————— 06

異文化を感じ、世界を学ぶ、先生たちの11日間

教師海外研修 ～ナミビア～ ————— 07

Think globally, act locallyを实践するために

国際教育研修会 ————— 08

教室と世界をつなげます！

国際協力出前講座 ————— 09

来て、見て、触れて、世界について考えよう！

施設訪問「国際理解教室」 ————— 10

JICA(ジャイカ)とは

JICA(独立行政法人国際協力機構) **J**apan **I**nternational **C**ooperation **A**gency

日本の政府開発援助(ODA)の実施機関で、世界約140カ国の国と地域、日本国内15ヶ所の国内拠点で開発途上国の課題解決に取り組んでいます。開発途上国が抱える問題の解決に対し、日本が持っているリソース(資金や機材、技術や経験、人材等)を活用し、よりよい国づくりに協力しています。JICAは、日本と開発途上国の「架け橋」となって国際協力事業に取り組んでいます。

世界を知り、自分を見つめる 2泊3日の異文化体験

高校生国際協力体験プログラム

JICA中国に泊まりがけで（2泊）、世界の課題や現状に関する講義やワークショップ、アクションプランの作成などを通して、国際協力や自分に何ができるかを考えます。
一生忘れられない体験を！

2023年 7月28日(金)～7月30日(日)



会 場 JICA 中国（広島県東広島市） 参加費 無料 定 員 30名程度

プログラムの目的

- さまざまな国の状況、国際協力の現状を知り、理解を深める。
- 他県・他校の生徒や国際協力経験者と意見や想いを交換し、参加者自身が国際協力にどう向き合うかを考える。
- さまざまな生き方や経験に触れることで、自分自身の進路選択に役立てる。

プログラム例（2022年度プログラムより）※プログラムは変更になる場合があります。

■ 第1日目

13:30 - 開会・自己紹介
15:00 - 講義「国際協力って何だ？」
16:00 - ワークショップ「異文化を理解する」
18:00 - 夕食・JICA研修員との交流タイム

■ 第3日目

9:00 - アクションプラン発表準備
10:50 - アクションプラン発表
13:00 - ふり回り
14:00 - 閉会式

■ 第2日目

9:00 - アクションプラン作成
「ユース版JICA海外協力隊！」
～青年海外協力隊経験者へのヒアリング、
課題抽出と整理、課題解決に向けて考える～
18:00 - 夕食・JICA国際協力推進員との交流タイム



参加条件

- ① 中国5県の高等学校に通学する現役高校生
- ② 原則として、初めての参加者を優先いたします。
- ③ 1校につき生徒4名までとします。尚、多くの学校に参加していただくため、定員を超えた場合は担当者へ参加生徒の調整をお願いする場合があります。予め、ご了承ください。
※宿泊は、2名1室での利用をお願いする場合があります。
- ④ 1名での個人応募も可能です。ただし、同じ所属校から個人での応募者が2名以上となった場合は、学校単位での参加と同条件(③)とさせていただきます。
- ⑤ 参加後にはJICA中学生・高校生国際協力エッセイコンテストへご応募いただきます。詳しくはP5をご覧ください。

申込締切

6月15日(木) 正午必着

参加決定通知

6月30日(金) 発送

お申込みに必要な情報

■ ご担当者情報(教職員または保護者)

氏名、ご所属先、ご住所(所属先または自宅)、学校の最寄り駅、電話番号(連絡の取れるもの)、緊急時連絡先(当日必ず連絡が取れるもの)、Email

■ 生徒情報

氏名、ご自宅住所、生年月日、学校名、学年、保護者携帯番号(緊急時連絡先)

※上記情報をそろえて、申込フォームにアクセスしてください。

費用について

■ 参加生徒自己負担

- ・3日分の食事代 3,200円
- ・復路交通費実費(5,000円を超える場合は、超過分をJICAが負担いたします)

■ JICA負担

- ・宿泊費 ※朝食代含む
- ・往路交通費 ※JICA規定額
- ・復路交通費のうち5,000円を超える超過分(該当者のみ)
- ・保険料

■ 交通費に関して

参加者所属校の最寄駅(バスの場合は停留所)が交通費算出の起点となりますので必ずご記入下さい。事前にJICA中国からお伝えする金額(JICA規定額)でのお支払となります。
交通費は後日、金融口座へお振り込みいたします。

申込締切は **6月15日(木) 正午必着**です。

JICA中国HP「高校生国際協力体験プログラム」の申込フォームからお申込みください。

※例年、定員を超えるお申込みをいただいております。締切日時を過ぎてからのお申込みは受けかねますので、くれぐれもご注意ください。

お問合せ

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター内
JICA中国 高校生国際協力体験プログラム担当

TEL : 080-1643-4134

E-mail : kaihatsu@npoc.or.jp

【後援】広島県教育委員会・広島市教育委員会・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山口県教育委員会・島根県教育委員会・鳥取県教育委員会 (予定)

詳細・申込フォームは JICA中国 高校生プログラム で 検索



あなたの想い、言葉にすれば世界を変える力になる。

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しています。

上位入賞者には、JICAが活動している開発途上国を訪問し、その国の課題や日本とのつながりを学ぶことのできる海外研修が贈られるほか、応募された方全員へ参加賞を差し上げます。

夏休みの課題として、地理や公民の授業のまとめとして、ぜひご活用ください。



2022年度
優秀賞受賞作品

世界とつながる「昔の知恵」

島根県立浜田高等学校2年 横山 麗乃

私は絵に描いたような田舎に住んでいます。鉄道は通っておらず、信号機は1機もありません。最寄りのコンビニは車で30分かかります。小・中学校の同級生は4人でした。夜、出歩く時は変質者よりもクマやイノシシに遭遇しないか常に注意を払います。そのような小さな町で16年間過ごしてきた私にとって、たくさんのお年寄りは様々な事を教えてくれる先生です。先生は習字やそろばん、石見神楽などの伝統文化から農業、料理まで多岐に渡って知識や技術を伝授してくれます。その中で最も私が好きなのが、いわゆる「昔の知恵」です。例えば肌荒れで悩んでいた時にはビワの葉やドクダミなどの葉草で化粧水と一緒に作ったり、稲刈りの後のハデ干しの仕方を教えてもらったりしました。「昔の知恵」を実際に使って生活するうちに、私はどんどん知恵の吸収にのめり込みました。

そんな時、国際協力に興味をもつきっかけをくれた1冊の本と出会いました。『エンザロ村のかまど』です。この本は日本人女性の岸田さんが「昔の知恵」を使って、ケニアにあるエンザロ村の人々の生活を変えた実話です。岸田さんが来る前の村では清潔な水を飲めず亡くなる村人や、裸足で歩くためにけがをして病気になる子供が後を絶ちませんでした。そこで彼女は日本のかまどとぞうりを村人に伝授したのです。かまどの導入によって煮沸消毒した水が飲めるようになり、料理をする時の負担も軽減されました。ぞうりは足の保護だけでなく、販売する事で収入を得る手段としても大活躍しました。エンザロ村の死者数も大幅に減ったそうです。「昔の知恵」であるかまどやぞうりが村人の命を救ったのです。

岸田さんのこの素晴らしいアイデアには、彼女の子どもの頃の思い出が大きく関係していました。実は、岸田さんは岩手県にある小さな村の出身です。幼い頃から祖父や地域のお年寄りに田舎での伝統的な生活の知恵を教

えてもらっていたそうです。私は岸田さんによく似た境遇で育ててもらっていたことに大きな衝撃を覚えました。そして、私が住む何もないと思っていた田舎町は、実は世界を変えられる力をもつ知恵の宝庫だったのだと気がきました。私は、田舎で育ち「昔の知恵」をたくさん身につけている私だからこそできる事があるのではないかと考えるようになりました。

世界には、生活をより良くするための最新の機械や技術が非常にたくさんあります。それらが途上国の人々を救っているのは確かに事実です。しかし、電気の通っていない村では機械は動かず、修理が必要な時には技術者を呼ばなければなりません。どんなに優れた機械や技術でも、その途上国の人々だけで使えなければ、本当の支援とは言えないのではないのでしょうか。だからこそ私は、どこでも誰にでも使え、伝承することもできる「昔の知恵」を岸田さんのように、もっと広く広めていくべきであると思います。

日本は長い歴史を通して災害や貧困、飢餓、伝染病など様々な困難に直面してきましたが、その度に受け継いできた知恵を使って乗り越えてきました。しかし残念な事にその知恵は忘れられつつあります。もちろん今の時代、簡単に検索することはできますが、ネットや本には私が知るちょっとしたコツは殆ど書かれていません。やはり「昔の知恵」は継承しなければだんだん廃れていってしまうものだと思います。私は生活を便利にし、時には命を救ってきた「昔の知恵」を更に吸収し世界中へ、そして次世代へ伝承していきたいです。それが私だからこそできる世界とつながるための、そして未来のための行動だと思います。小さな田舎で得た「昔の知恵」という大きな宝物を胸に、私は今日も夢に向かって進み続けます。「昔の知恵」を知ること、それが、私の第一歩目です。

対 象

2023年6月時点で中学生・高校生であること

※高校生国際協力体験プログラムにご参加の方はご応募ください。

募集期間

2023年6月上旬～9月上旬

詳細は

JICAエッセイコンテスト

で 検索



世界の衣装、お貸しします

JICA中国 民族衣装の貸出

JICA中国では、アジア、アフリカ、中南米など、開発途上国の民族衣装を貸し出しています。その地域ならではの素材、手触り、刺繍…触れることで、その国のイメージがどんどんふくらみます。国際教育の授業や異文化理解を目的とする学校行事（非営利のものに限る）にお役立てください。



貸し出しの流れ

1

JICA中国HP「民族衣装の貸出」の申込フォームからお申し込みください。
※実施希望日の**2週間前**までにお申し込みください。

2

JICAより連絡
●貸出状況のご案内
●送付方法の確認（送料はご負担願います）

3

貸 出

4

返 却
●クリーニング後、依頼元負担で返送
●アンケートを添付（同封）してください。

貸出可能な教材

各国の民族衣装



貸出対象者

中国地方の教育機関



お問い合わせ

JICA中国 市民参加協力課 民族衣装貸出担当
TEL : 082-421-6305 E-mail : jicacice@jica.go.jp

詳細・申込フォームは JICA中国 民族衣装の貸出 で 検索



異文化を感じ、世界を学ぶ、先生たちの11日間

JICA中国・四国 教師海外研修

■ ナミビア共和国 ■

8月7日(月)～17日(木)

開発教育や国際教育に関心のある中国・四国地方の先生方を対象に、国内の研修と国際協力の現場を訪問する海外研修を通して、開発途上国の現状や日本とのつながり、国際協力への理解を深め、その成果を学校や地域で児童・生徒に還元していただくプログラムです。



研修国および募集人数

研修国：ナミビア共和国 募集人数：10名程度

応募方法および応募締切

応募用紙に必要事項をご記入の上、JICA中国市民参加協力課までお送りください。

2023年5月17日(水) 必着

選考について

選考は、書類選考と面談にて実施します。面談は、JICAスタッフが対象者の所属校を訪問またはオンラインで実施します。面談では、別途、管理職の方にもお話を伺いますので、ご協力をお願いいたします。

国内研修について

- ① 事前研修〈参加必須〉 6月24日(土)～25日(日)
会場：岡山市内
- ② 事後研修〈参加必須〉 9月2日(土)～3日(日)
会場：岡山市内
- ③ 報告会〈参加必須〉 2024年1月27日(土)～28日(日)
※いずれか1日は一般公開の研修と併催です。
会場：岡山市内
※会場は変更となる場合があります。

海外研修について

8月7日(月) (午後) 出発前オリエンテーション
8月7日(月)～17日(木) 現地研修
(機内泊含む・16日(水)夜 成田空港着)

報告書の提出 (必須)

- ① 出発前報告書 事前研修後
- ② 現地研修報告書 帰国後
- ③ 授業実践報告書 2024年1月上旬

※報告書については、冊子を作成し関係機関に配布すると共に、JICA中国ホームページに掲載、一般公開予定です。

【後援】 外務省・文部科学省
鳥取県教育委員会・島根県教育委員会
岡山県教育委員会・広島県教育委員会
山口県教育委員会・徳島県教育委員会
香川県教育委員会・愛媛県教育委員会
高知県教育委員会・岡山市教育委員会
広島市教育委員会 (予定)

お問合せ

JICA中国 市民参加協力課 教師海外研修担当
TEL：082-421-6305 E-mail：jicacice@jica.go.jp

応募条件や参加費用など、詳しくは別紙パンフレットまたは

JICA中国 教師海外研修

で 検索



Think globally, act locallyを实践するために

JICA中国 国際教育研修会

外国につながる子どもが増え、社会が多様化し、地域が抱える課題も複雑化する中で、国際教育のあり方も大きく変化しています。教員や学生はもちろん、JICAボランティア経験者やNGO・NPO関係者など、テーマに関心のあるすべての方を対象に開催します。

地域社会を担う市民として何ができるか、一緒に考えてみませんか？

1回目

2023年7月

2回目

2024年1月28日(日)

※日程、会場、詳細は決まり次第JICA中国HPで公開します。



対 象 テーマに関心のある方どなたでも

費 用 無料 **参加締切** 定員に達し次第、締切

お問合せ・お申込み

JICA中国 市民参加協力課 国際教育研修会担当

TEL : 082-421-6305 E-mail : jicacice@jica.go.jp

【後 援】 広島県教育委員会・広島市教育委員会・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山口県教育委員会・島根県教育委員会・鳥取県教育委員会 (予定)

詳細は

JICA中国 国際教育研修会

で 検索



教室と世界をつなげます！

JICA中国 国際協力出前講座

開発途上国で国際協力に携わってきた青年海外協力隊などのJICA海外協力隊経験者やJICA専門家、JICAスタッフが講師として、皆様のもとへおじゃまします。国際協力の現場で活躍した人材だからこそ伝えられる貴重な体験談やエピソードをお届けします！



内容・テーマ例

※詳細はお問い合わせください。

- JICA事業紹介・国際協力活動について
- JICA海外協力隊（青年海外協力隊など）の体験談
- 途上国の生活や文化について
- 国際協力という仕事・キャリアについて
- 国際協力とSDGs
- 国際協力におけるNGO

活用方法

- 教員研修（参加型学習の手法等）
- 総合的な学習の時間、社会、道徳など
- キャリア学習（国際協力の仕事とは）
- テーマ学習
（文化祭等の行事や修学旅行の事前学習など）
- 市民講座（生涯学習）

対 象

- 小・中・高校・特別支援学校・大学等の教育機関
- 一般・市民団体 等

費 用

- 会場までの交通費実費をご負担ください。
- 謝金については、学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。単価基準がない場合は、目安としては一人当たり1時間4,600円（JICA規定に基づく）です。

※原則として以下のケースは依頼をお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

- 個人宅で実施するもの
- 依頼者の事業収益、営業、拡販、宣伝等を目的としたもの
- 依頼者の個人的な活動に基づくもの

お申込み～実施までの流れ

1. JICA中国HP「国際協力出前講座」の申込フォームからお申し込みください。

※実施希望日の約1ヶ月前までにお申し込みください。

2. JICA中国 国際協力出前講座担当より連絡、希望内容の聞きとり

3. 講師の選定

4. 講師と依頼元で内容や時間など詳細を調整

5. 出前講座実施

6. アンケートを提出

お問合せ

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター内 JICA中国 国際協力出前講座担当
TEL：080-1643-4134 E-mail：kaiatsu@npoc.or.jp

詳細・申込フォームは

JICA中国 出前講座

で 検索



来て、見て、触れて、世界について考えよう！

JICA中国 施設訪問「国際理解教室」

JICA中国を訪問し、開発途上国の暮らしや地球が抱える問題、国際協力について学べるプログラムです。地球規模の課題や多様な文化、世界と私たちの生活のつながりを知り、一人ひとりにできることを考えましょう！民族衣装や楽器体験もできます。



こんな方にオススメ！

- JICAの活動を知りたい
- 世界の問題を考えたい
- 途上国の生活を知りたい
- 国際協力について知りたい
- 将来国際協力の現場で働きたい
- 国際協力とSDGsのつながりを知りたい

対 象

- 小・中・高校・特別支援学校・大学等の教育機関
- 一般・市民団体 等

プログラム（例）

※プログラムの例はHPをご覧ください。ご希望の内容や時間をお伺いした後、プログラムをご提案いたします。

- ① JICA事業について
- ② JICA海外協力隊の活動体験談
- ③ 世界の問題を考えるワークショップ
- ④ エスニックランチバイキング（有料）
- ⑤ 民族衣装、楽器体験

お申込みの方へ

- エスニックランチバイキングは11：30～14：00のみ利用可、小学生650円、大人（中学生以上）750円で事前申込みが必要です。
※アレルギー対応が必要な場合は、必ず申込時にご相談下さい。（全てに対応できない場合がございます）
- 旅行会社を通じたご依頼の場合も、申込フォームの入力および内容に関する相談は、必ず訪問する学校・団体の担当者様が直接ご対応ください。

お申込み～実施までの流れ

1. JICA中国HP「施設訪問（国際理解教室）」の申込フォームからお申し込みください。
※実施希望日の約1ヶ月前までにお申し込みください。
2. JICA中国 施設訪問担当より連絡、希望内容の聞き取り
3. プログラムの作成、ご提案（場合により、依頼元と担当での打合せなど、詳細を調整）
4. 施設訪問実施
5. アンケートを提出

お問合せ

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター内 JICA中国 施設訪問「国際理解教室」担当
TEL：080-1643-4134 E-mail：kaiatsu@npoc.or.jp

詳細・申込フォームは

JICA中国 施設訪問

で 検索





あなたの街のJICAデスク(国際協力推進員)

「地域のJICAの窓口」として中国各5県に配置され、国際協力の相談に応じています。

国際協力について知りたい、国際教育について聞きたいなど、お気軽にお近くの国際協力推進員にご相談ください。

●岡山県JICAデスク	(一財)岡山県国際交流協会内	TEL.086-256-2917	✉ jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp
●山口県JICAデスク	(公財)山口県国際交流協会内	TEL.083-925-7353	✉ jicadpd-desk-yamaguchiken@jica.go.jp
●島根県JICAデスク	(公財)しまね国際センター内	TEL.0852-31-5056	✉ jicadpd-desk-shimaneken@jica.go.jp
●広島県JICAデスク	(公財)広島平和文化センター内	TEL.082-242-8879	✉ jica_hiroshima_desk@jica.go.jp
●鳥取県JICAデスク	(公財)鳥取県国際交流財団内	TEL.0857-51-1165	✉ jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp